

# バイオリジクスフォーラム第2回学術集会 「新しいバイオリジクスの開発動向と規制」

主催：バイオリジクスフォーラム

共催：日本薬学会レギュラトリーサイエンス部会

日時：2004年11月22日（月） 10:00～（開場：9:40）

場所：日暮里サニーホール（JR・京成日暮里駅から徒歩2分）

（[http://www.tcn-catv.ne.jp/~acc/sunny\\_hall/sunny01.html](http://www.tcn-catv.ne.jp/~acc/sunny_hall/sunny01.html)）

会費：フォーラム年会費として 一般会員 3000円

学生会員 1500円

10:00 國枝 卓（総合機構生物系審査部長）

バイオリジクスの新しい審査体制

10:40 Anthony LUBINIECKI (PhRMA)

米国バイオリジクス製薬企業のR&D動向

11:20 John PETRICCIANI (IABS 会長、元FDA-CBER 長、

元WHO バイオリジカルズ部門長)

バイオリジクスの開発および規制におけるWHOとIABSの役割

引き続き以下の関連シンポジウムを一般公開で開催します。

## シンポジウム：抗体医薬の新展開と課題

（主催：ヒューマンサイエンス振興財団）

13:30 土屋政幸（中外製薬）：抗体医薬品研究開発の現状

14:10 設楽研也（協和醗酵）：抗体医薬の展望：高ADCC活性型抗体を中心に

14:50 橋本博史（順天堂大学）：関節リウマチの抗体療法

15:45 中島敏博（化血研）：ファージディスプレイによる抗体作製

16:15 松田治男（広島大学）：ニワトリモノクローナル抗体の新展開

16:45 鹿野真弓（総合機構）：抗体医薬の承認審査について

17:15 川崎ナナ（国立衛研）：抗体のLC/MS分析

17:35 加藤晃一（名市大）：抗体のNMR分析

17:55 掛樋一晃（近畿大）：糖鎖組成を指標とするキャピラリー電気泳動による抗体解析

参加申込方法：<http://www.nihs.go.jp/dbcb/Meeting13-forum.html>

お問い合わせ：バイオリジクスフォーラム事務局

国立医薬品食品衛生研究所 生物薬品部及び遺伝子細胞医薬部

〒158-8501 東京都世田谷区上用賀 1-18-1 TEL & Fax: 03-3700-9064（川西 徹）

E-mail: [kawanish@nihs.go.jp](mailto:kawanish@nihs.go.jp), HP: <http://www.nihs.go.jp/dbcb/bioforum.html>

